

全国高校ギター・マンドリン音楽コンク

弥生高器楽クラブ3位



2年連続 知事会賞

全国高校ギター・マンドリン音楽コンクールで
全国3位に輝いた伊那弥生ヶ丘高校器楽クラブ

伊那弥生ヶ丘高校（伊那市）の器楽クラブが、全国高校ギター・マンドリン音楽コンクール（7月29、30日大阪府）で全国3位に相当する全国知事会賞を受賞した。優秀賞受賞校の中で評価が高い順に贈られる特別賞で、昨年に続き2年連続の受賞。8日には、同校同窓会が同校で祝賀会を開いてお祝いの言葉を贈るとともに、大会で披露した曲の演奏が行われた。（町田陽）

昨年11月の県大会で最優秀賞に選ばれ、33回連続の全国大会出場を決めた。演奏曲は「トレピック プレリユー ド」。部員46人が全国の舞台でも息の合った迫力の演奏を披露し、参加59校の中から全国3位に輝いた。

祝賀会で下島典子同窓会長は「2年連続の素晴らしい快挙。皆さんの努力に感激して感謝している。このことを一生大切に思っ自分の誇りにしてください」とお祝いの言葉を贈った。この日は全国大会をもつて引退した3年生も

参加し、このメンバーでの最後の演奏を披露。演奏の場を設けてくれた同窓会への感謝を伝えた。

3年の鮎澤凜汰郎前部長（18）は「悔いなく、ただ楽しむ」と本番に挑んだ。みんなの仲の良さを生かしたまともな迫力のある演奏ができた」と振り返り、「半年以上練習した思い入れのある曲を46人のメンバーで披露でき、結果がついてきてうれしい」と笑顔。2年の藤森ななせ部長（16）は「いまの良さを引き継ぎながら1、2年生の新しいさも出していい演奏をしていきたいら」と意気込んだ。

長年クラブを指導する井上雄一さん（69）は「指導する者としてこんなうれしいことはない。生徒たちに感謝している」と話した。

キノコの季 チチタケが

8月定番、今年

キノコの季節を迎えた。8月、伊那市ますみヶ丘の産直市場今年はグリーンファームで、夏キノコも入るキノコのチチタケの入荷が始まった。

